

# 自分の思いや考えを表現できる生徒の育成

矢掛町立矢掛中学校

教諭 藤澤勝巳

## 1 研究の概要

政治・経済・情報など様々な国際化が進んでいく中で、ふるさと矢掛町と日本・世界をつないでいくことのできる生徒を育成したいと考えている。そのためには、日々の学習活動の中で、国語・英語を基礎とした言語能力とコミュニケーション力の育成と、その力を活かした行動力を発揮できる場の設定をすることが、国際理解教育推進の基盤となると考えている。



そこで、本校では「自分の思いや考えを表現できる生徒の育成」をテーマに研究を進め、以下のような内容に取り組んでいる。

## 2 実践事例

### (1) 学力向上のための全教科での授業改善の取り組み

- ・目標の明確化・・・その時間の目標を板書する
- ・学習の意欲付け・理解深化・・・ICT（電子黒板、書画カメラ、大判プリンター）を活用して学習効果を高める
- ・自己評価・・・学習について文章表記で評価する

### (2) 総合的な学習の時間

#### ① ソーシャルスキル学習

- ・第1学年・・・上手な聴き方、上手な頼み方、相手の気持ちに共感する
- ・第2学年・・・温かい言葉かけ、失敗したときの対処法
- ・第3学年・・・感情のコントロール、受験の面接の仕方

#### ② 体験活動

- ・第1学年「矢掛町内の調べ学習」  
まちづくり出前講座（農業、税、防災など）、調査訪問（町役場、大通寺など）
- ・第2学年「チャレンジワーク14」  
5日間の職場体験（矢掛放送、矢掛保育園、コンビニエンスストア、工場など）
- ・第3学年「修学旅行（東京）」  
2日目テーマ別研修（国会議事堂、品川アクアスタジオ、ブルネイ・カナダ大使館など）
- ・表現する場・・・電話でのアポイントメント、訪問時の挨拶・自己紹介・取材・写真  
テーマのまとめ新聞制作、作文（感想文）、お礼状、発表会

### (3) 矢掛町・西安市（中国）学生交流事業

- ・学生交流・・・平成11年の来町から開始して、隔年で交互に中学生を派遣する
- ・事前学習・・・中国語のあいさつ、合唱練習、日本の伝統的な遊び、お茶席
- ・交流内容・・・ホームステイ、交流会、中学校訪問、交流授業

## 3 まとめ

広い意味での学力と日本・世界へつないでいく力をつけるためには、表現力の向上が欠かせない。そのために、全教科でICT機器を活用し、スキルアップに努めている。また、総合的な学習の時間では、訪問先や時間設定、交通機関の利用等を自主的に計画し、生徒の意欲を高め、発表会などの内容を3年間で向上させたい。貴重な西安市との事業は今後も大切に、最終的には、進路決定や人間力の向上につなげ、校訓「友愛」の目指す国際人を育てたい。